

こんにちは 2017年8月3日No.147

ちかざわ美樹です

日本共産党 市議会議員活動報告



chikamiki222@gmail.com

☎&fax 042-582-1870

☆自宅:日野市万願寺 6-35-9

カサベルデ 201

☆ちかざわ事務所(三沢中学校

のそば)日野市三沢 1-13-5

いつでも、どんなことでもお電話下さい ちかざわ携帯 ☎090-9313-1192

消費税増税＋値上げ＝市民は踏んだり蹴ったりです

市が「値上げ」示唆の行革実施計画を発表

日野市はこのたび、「第5次日野市行財政改革大綱実施計画」を発表しました。

これは、今年4月に策定した「第5次日野市行財政改革大綱」で示した基本方針に基づいてその具体的な取組項目、実施内容、工程表、数値目標等を定めたものです。

実施計画の中で市は「利用者負担の見直し」として、「今年度社会情勢の変化に対応し、施設等の運営に係る原価を踏まえて『手数料、使用料等見直し基準』を策定し、これに基づいて手数料・使用料・税外収入の定期的な見直しに取り組む」としています。

消費税増税のツケが市民におしつけられる

手数料・使用料等の見直しについては、昨年7月19日に開催された「日野市手数料、使用料等検討委員会」では次のような意見が委員から出されていました。

★消費税率が8パーセントに改定された段階で、手数料、使用料等の増税分を転嫁しておらず、市が負担している状況では良くない。

★消費税率10パーセントに上がる際には、手数料、使用料等に反映すべきである。

中学校庭夜間照明有料、駐輪場値上げ

また、今年3月の予算委員会で大坪市長は、「第5次行革は、歳入を増やしていくにはどうしたらいいのか、歳入を減らしていった新しい未来の投資のための財源を生み出すためにどうしたらいいのか、絞り込んで作った。常に使用料、手数料というのはまな板に乗せるべきもの」といった発言をしています。

こうした考えを反映し、このたびの実施計画の中では、「中学校校庭の夜間照明使用料の導入の検討」や、「市営駐輪場の利用料金の見直しや無料駐輪場の一部の有料化を図ること」があげられ、「ごみ処理手数料」については「手数料、使用料等見直し基準」に基づき料金改定の要否を、消費税率改定の際に判断する、としています。

いっぽうで「見直し」なしの新道路建設等

こうした一方で、大型道路建設、南平体育館の建て替えは見直すことなくすすめられようとしています。「未来のため」などという理由をつけて市民にさらなる自己責任と負担増を求めることは、とうてい「改革」とよべるものではありません。

ごみ広域化計画強行は許されません。白紙にして住民と一からの見直しを！

【日本共産党の無料法律相談】 第1.2.3木曜日予約制です

第1.3木曜日 18:00～20:00 第2木曜日 13:00～15:00



日野市議会議長 西野 正人 様

核兵器禁止条約に、日本は参加・批准することを政府に対して求める請願

【請願趣旨】

2017年7月7日、「核兵器禁止条約」が国連本部で採択されました。核兵器の使用、開発、実験、生産、製造、保有などを禁止した、初めての国際条約です。ヒロシマ・ナガサキのヒバクシャの悲願を受けて、前文には「ヒバクシャが受けた、容認できない苦しみと被害を心にとめる」という文言が入りました。国連加盟 194 カ国の 122 カ国が賛同して採択された、この条約は、9 月から各国による署名が始まり、50 カ国が批准を終えたのちに発効します。

この条約を第一歩として、核のない世界を実現するには、圧倒的多数の非核保有国と、核保有国・核の傘に依存する国との間を取り持つ重要な役割を、被爆国である日本が果たしてほしい、と切望します。

日野市議会は、昭和 57 年（1982 年）「日野市核兵器廃絶・平和都市宣言」を採択しました。宣言文「…ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいうまでもない。」は、今に至るもそのまま、切実な現実を訴え続けています。

日野市議会はヒバクシャの切なる願いを重く受け止め、地方自治法第 99 条の規定に基づいて、国に意見書を提出してくださるようお願いいたします。

【請願項目】

日野市議会は、政府に対して、核兵器禁止条約に日本が参加・批准することを求める意見書を提出してください。

2017年8月30日

請願者：片山 昇 (191-0042 日野市程久保39-204) 他 名

住 所	氏 名

署名集約先：古荘斗糸子(191-0033 日野市百草971-174)

第一次集約 2017年8月27日 第二次集約 9月8日

【取扱い団体：

】

日野から日本政府に「核兵器禁止条約」批准求める声を大きく

市内にお住いの片山昇さんが請願者となって、政府に対して核兵器禁止条約に参加・批准を求める意見書を、日野市議会から提出する運動(左の署名)が始まりました。日野市は1982年に日野市核兵器廃絶・平和都市宣言を行っています。宣言文は次の通りです。

「巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器制限交渉などをもってしても、もはやその拡大を止められない事態となっている。ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいうまでもない。日野市は、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、ここに日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する。」

日本共産党発行



日刊●月 3497円
日曜版●月 823円



東京民報は東京がよくわかる週刊新聞、月額 400 円です。いま大注目の東京都政。他紙には決して掲載されない独自取材のニュースが満載の東京民報。見本紙をご希望の方はすぐお届けします、ご遠慮なくご連絡下さい。

いのちがいらばん

(自己紹介つづき) とともに 12 才で終戦を迎え、新しい日本国憲法を手にした両親は、誰もが平等であることにこだわっていました。私に対しても決して「女だから」と言う事なく、兄と私を公平に扱ってくれたことは、今の私のおおもとになりました。兄の名前は「好樹：よしき」というのですが、私の名前「美樹：みき」も「よしき」とも読めるので「二人は名前も同じにした」と冗談を言うほどでした。当時男の子のランドセルは黒、女の子は赤と決まっていたのですが、私は、使わなくなった兄の黒いランドセルを背負って通学しました。スカートをはかなかったので、私を男の子と思っている子もいたようです。



ちかざわ美樹